ブラジル・メキシコ・アルゼンチン 経済・金融概況（2026年10月）

2026年10月29日
三菱UFJ銀行 経営企画部 経済調査室

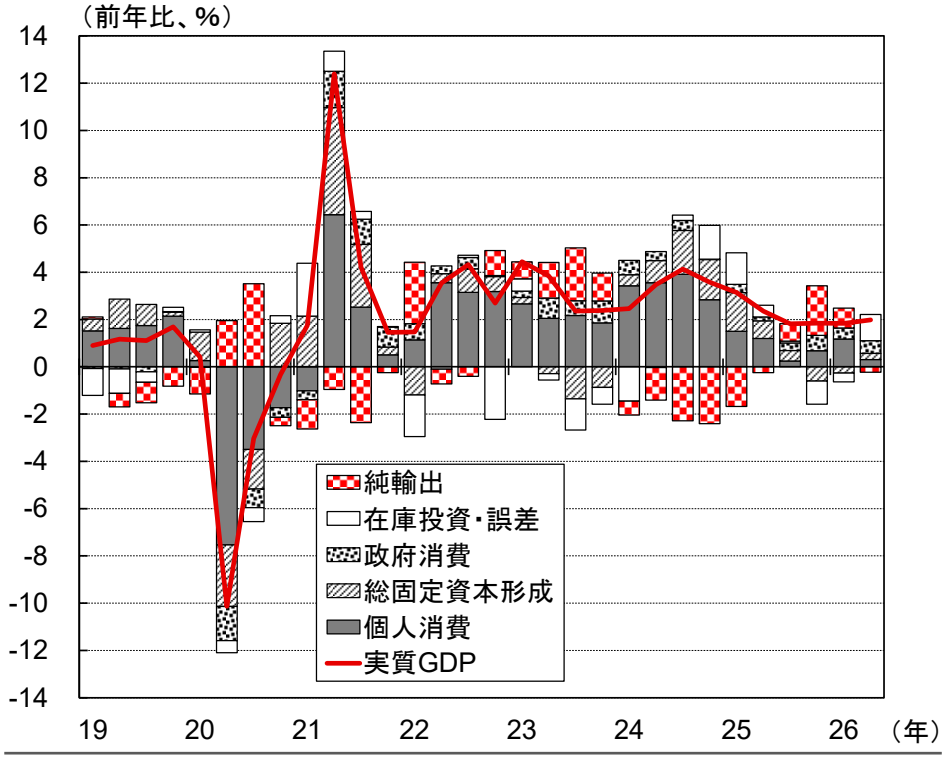
三菱UFJ銀行

MUFG

1. ブラジル （1）景気概況

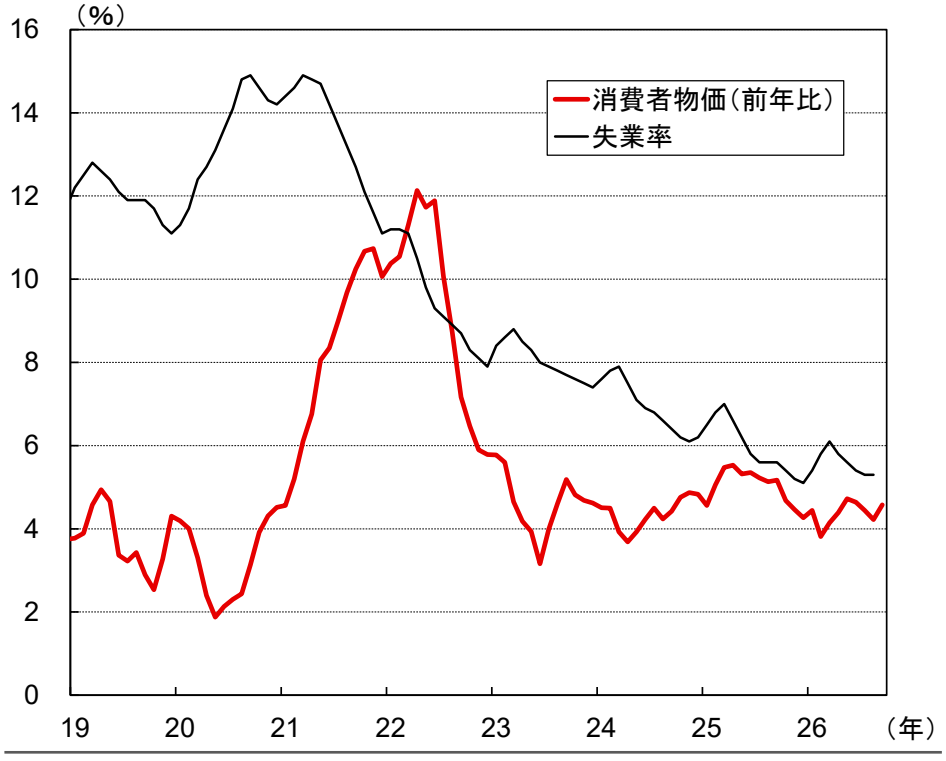
- 4-6月期の実質GDP成長率は前年比＋2.0%と、前期（同＋1.8%）から小幅に加速。需要項目別の寄与度では、個人消費（同＋0.3%ポイント）はプラス幅が縮小した一方、総固定資本形成（同＋0.3%ポイント）と在庫投資・誤差（同＋1.1%ポイント）はプラス転化。
- 8月の失業率（未季節調整値）は5.3%となり、前年同月の5.6%から低下。2021年をピークに下落傾向が継続。
- 9月の消費者物価指数は前年比＋4.6%と、ブラジル中央銀行が定めるインフレ目標（前年比＋3%±1.5%）をやや上回った。

実質GDP成長率の推移



（資料）ブラジル地理統計院統計より国際通貨研究所作成

消費者物価上昇率と失業率の推移

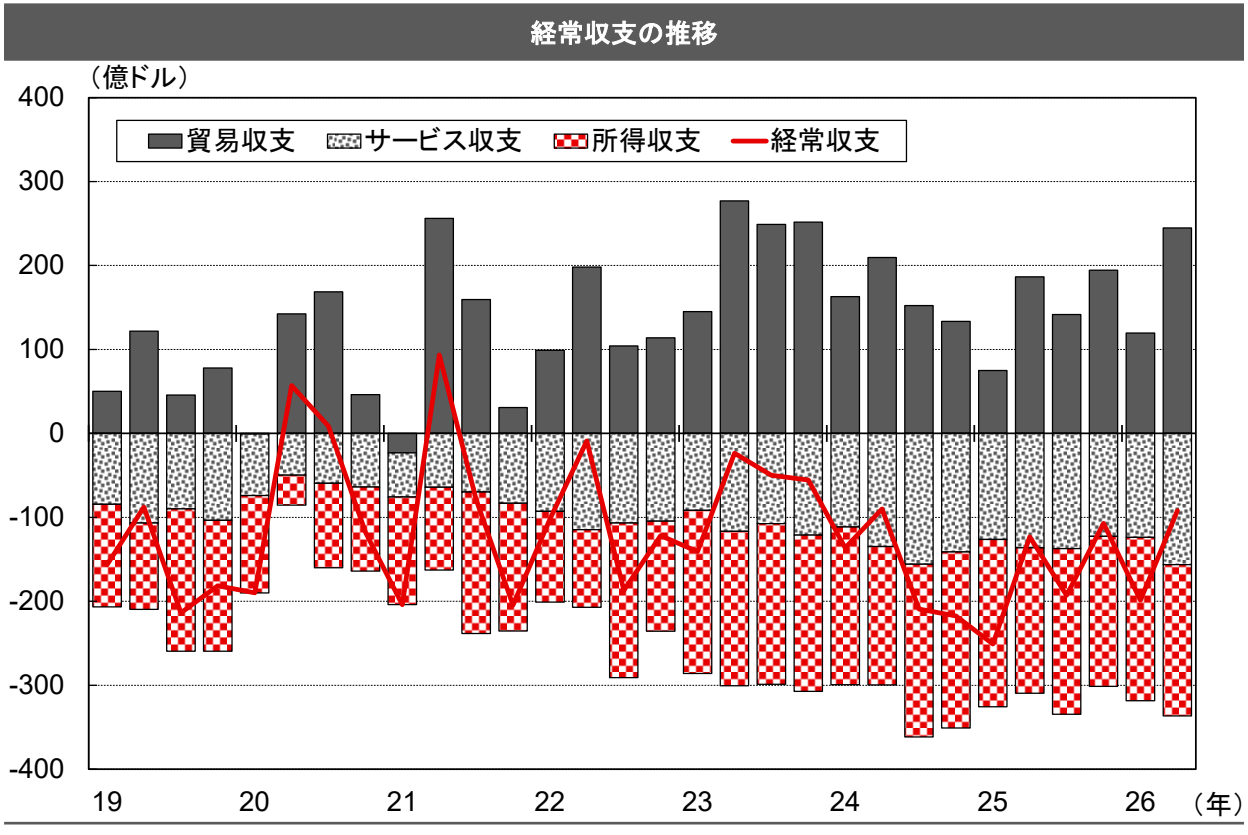


（注）失業率は未季節調整値。
（資料）ブラジル地理統計院統計より国際通貨研究所作成

MUFG

1. ブラジル （2）経常収支

- 4-6月期の経常収支は▲92億ドルと、前年同期の▲123億ドルから赤字幅が縮小。
- 内訳をみると、サービス収支は▲156億ドル（前年同期：▲136億ドル）と赤字幅が拡大した一方、貿易収支は＋245億ドル（同：＋186億ドル）と黒字幅が大きく拡大。



（資料）ブラジル中央銀行統計より国際通貨研究所作成

1. ブラジル （3）金融市場

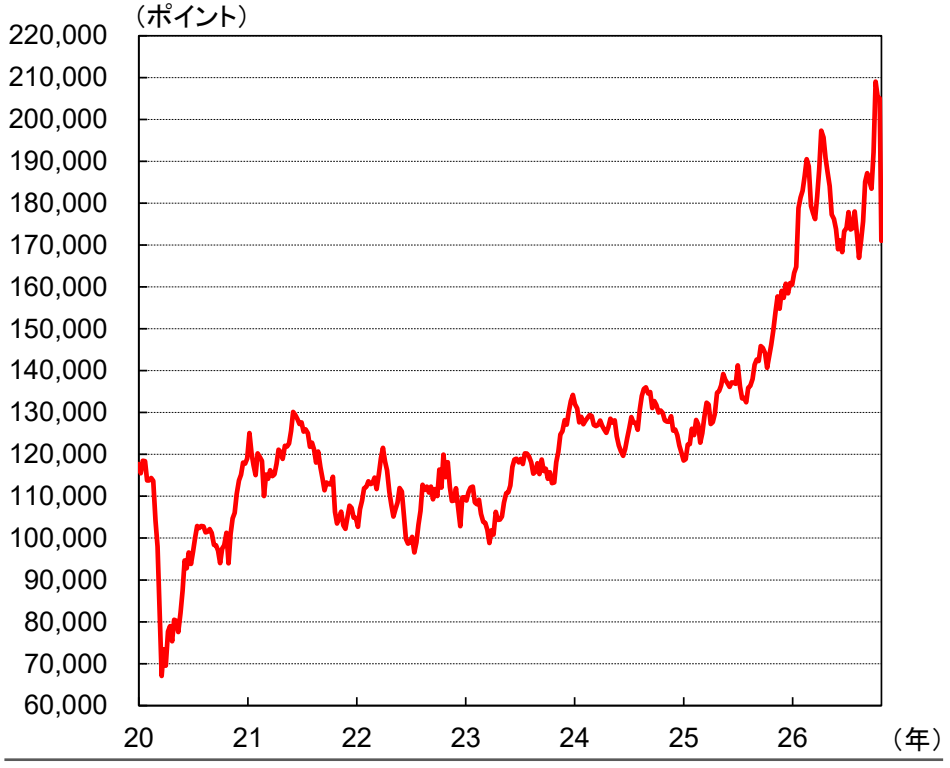
- ブラジル中央銀行は9月の金融政策委員会において、政策金利を0.25%ポイント引き下げ、13.75%とした。これまでの金融引き締めの効果が経済活動や物価に波及していることを踏まえ、政策金利の調整を継続したと発信している。
- ブラジルレアルの対ドル相場は、大統領選挙におけるルラ大統領の再選を受けて、財政政策に対する思惑等から通貨安が進み、足元1ドル＝5.3レアル前後で推移。
- 株価（ボベスパ指数）は、大統領選挙前には210,000ポイント近辺まで上昇したものの、大統領選挙後に大幅に下落し、足元は176,000ポイント前後で推移。財政規律や今後の経済政策を巡る不透明感が株価の重石となっている。

ブラジルレアル（対米ドル）の推移



（資料）Refinitiv Datastreamより国際通貨研究所作成

株価（ボベスパ指数）の推移



（資料）Refinitiv Datastreamより国際通貨研究所作成

1. ブラジル （4）経済・金融概況

ブラジルの主要経済指標

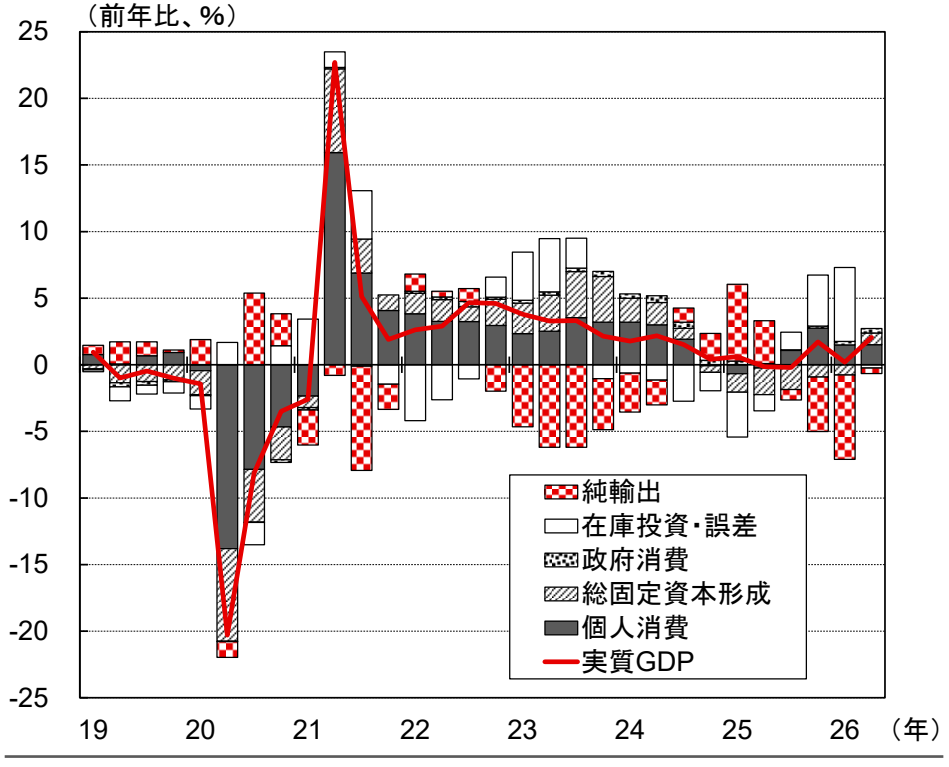
	年次			四半期次				月次			
	2023	2024	2025	25/7-9	10-12	26/1-3	4-6	26/6	7	8	9
実質GDP成長率（前年比、%）	(3.2)	(3.4)	(2.3)	(1.8)	(1.8)	(1.8)	(2.0)				
経済活動指数〇	102.86	106.39	108.96	108.72	109.16	110.54	110.89	110.37	110.03	110.41	ー
鉱工業生産（前期比、%）〇	(0.3)	(2.7)	(0.8)	(0.5)	(▲0.7)	(1.3)	(0.3)	(▲1.6)	(0.1)	(▲0.6)	ー
設備稼働率（%）〇	(78.7)	(79.1)	(78.1)	(78.0)	(77.7)	(77.5)	(77.3)	(77.1)	(77.5)	(76.9)	ー
小売売上高（前年比、%）	(1.7)	(4.2)	(1.6)	(0.8)	(1.6)	(2.3)	(1.6)	(2.8)	(1.3)	(0.4)	ー
自動車国内販売台数（千台）	2,309	2,635	2,690	712	779	625	795	272	280	275	281
失業率（%）	(8.0)	(6.9)	(6.0)	(5.6)	(5.2)	(5.8)	(5.6)	(5.4)	(5.3)	(5.3)	ー
消費者物価上昇率（IPCA）（前年比、%）	(4.6)	(4.4)	(5.0)	(5.2)	(4.5)	(4.1)	(4.6)	(4.6)	(4.4)	(4.2)	(4.6)
卸売物価上昇率（前年比、%）	(▲6.1)	(0.5)	(3.9)	(2.0)	(▲2.0)	(▲4.3)	(0.7)	(2.3)	(1.9)	(1.1)	(2.7)
輸出（FOB）（億ドル）	3,397	3,370	3,483	927	908	830	1,017	356	338	333	ー
（前年比、%）	(1.7)	(▲0.8)	(3.3)	(4.6)	(9.9)	(6.9)	(13.8)	(22.1)	(4.5)	(12.1)	ー
輸入（FOB）（億ドル）	2,408	2,629	2,802	786	714	710	773	276	282	267	ー
（前年比、%）	(▲11.7)	(9.2)	(6.6)	(7.0)	(3.1)	(1.3)	(9.2)	(15.2)	(8.5)	(9.4)	ー
貿易収支（億ドル）	923	658	597	142	194	120	245	81	57	66	ー
経常収支（億ドル）	▲270	▲653	▲667	▲193	▲107	▲199	▲92	▲36	▲94	▲51	ー
直接投資ネット流入（億ドル）	628	741	777	256	126	208	261	91	70	74	ー
外貨準備高（億ドル）◎	3,170	2,827	2,981	3,089	2,981	2,998	3,102	3,102	3,130	3,171	3,054
ベースマネー（億レアル）◎	4,227	4,512	4,471	4,297	4,471	4,389	4,311	4,311	4,326	4,327	4,349
政策金利（Seric Target rate）◎	(11.75)	(12.25)	(15.00)	(15.00)	(15.00)	(14.75)	(14.25)	(14.25)	(14.25)	(14.00)	(13.75)
対米ドル為替相場◎	4.841	6.192	5.502	5.318	5.502	5.219	5.176	5.176	5.077	5.181	5.181
株価指数（ボベスパ指数）◎	134,185	120,283	161,125	146,237	161,125	187,462	172,024	172,024	177,999	177,419	186,341

（注）◎印：期末値、〇印：季節調整値
（資料）ブラジル中銀、ブラジル地理統計院（IBGE）、世界銀行、サンパウロ証券取引所より国際通貨研究所作成

2. メキシコ （1）景気概況

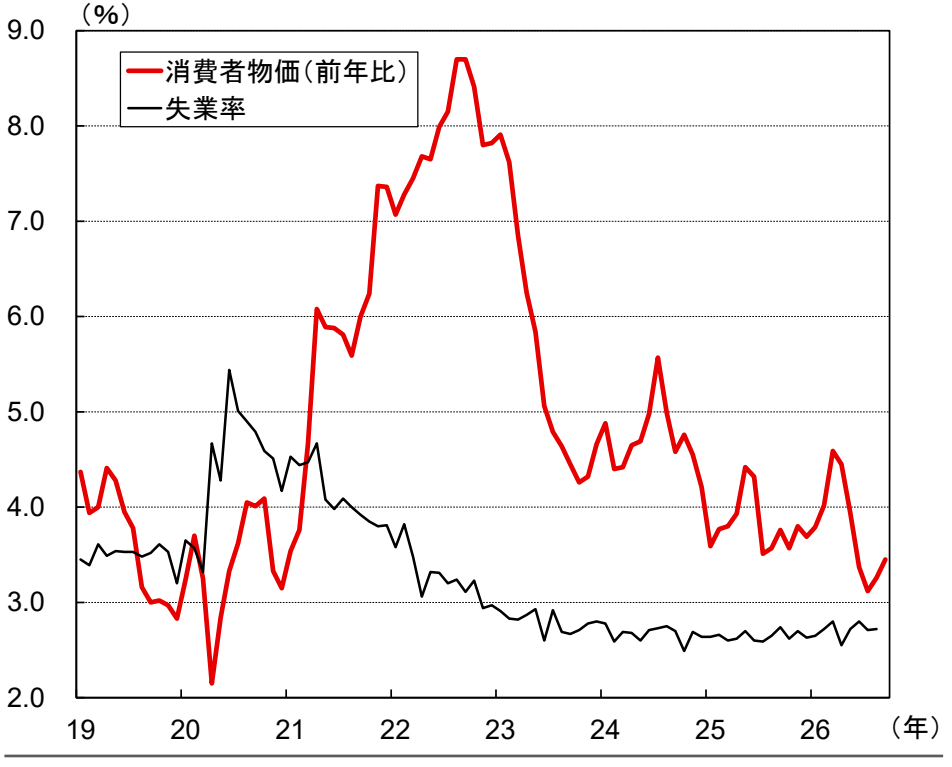
- 4-6月期の実質GDP成長率は前年比＋2.1%と、前期（同＋0.2%）から大幅に加速。需要項目別の寄与度では、純輸出（同▲0.4%ポイント）のマイナス幅が大きく縮小したほか、総固定資本形成（同＋0.9%ポイント）は前年比プラスに転化。
- 8月の失業率は2.7%と引き続き低位で推移。
- 9月の消費者物価上昇率は前年比＋3.5%と、メキシコ銀行が定めるインフレ目標（前年比＋3%±1%）の上限を5ヵ月連続で下回った。

実質GDP成長率の推移



（資料）国立統計地理情報院統計より国際通貨研究所作成

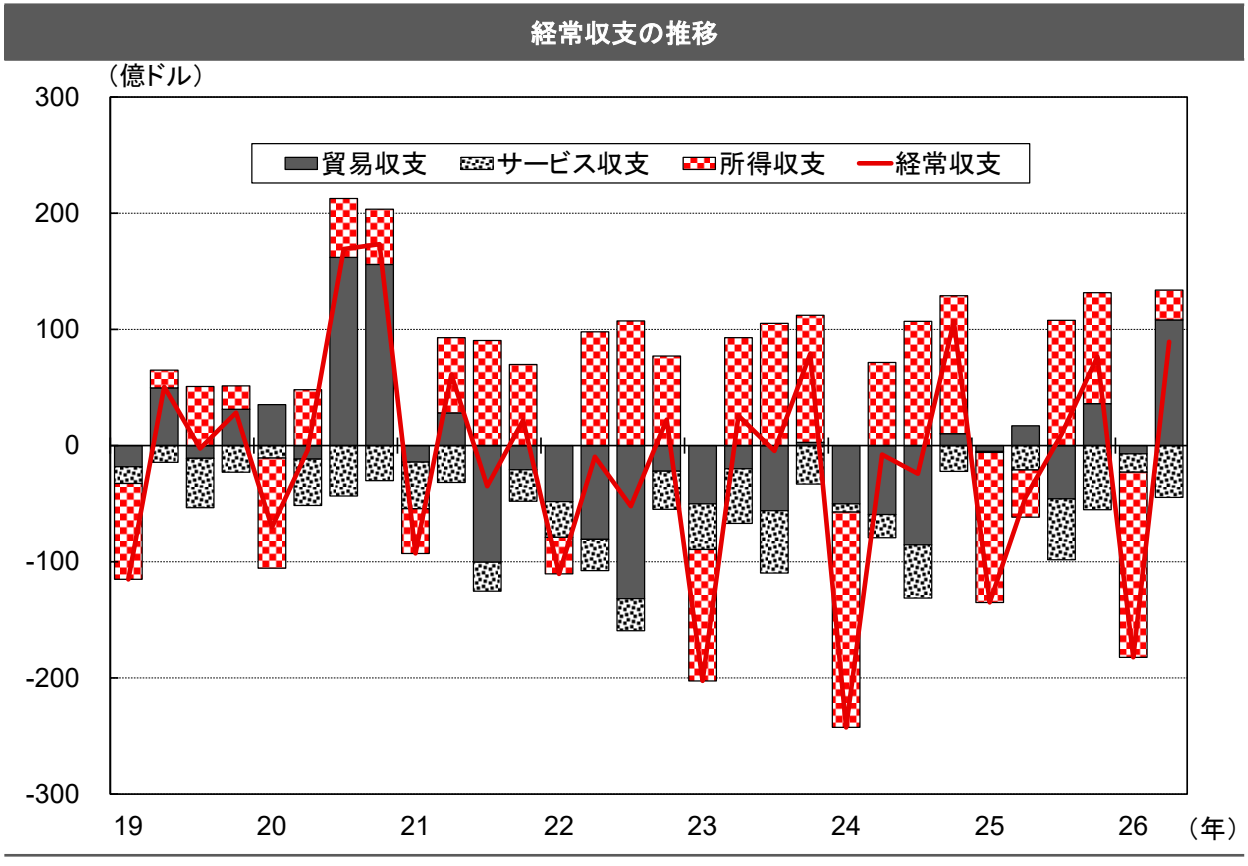
消費者物価上昇率と失業率の推移



（資料）国立統計地理情報院統計より国際通貨研究所作成

2. メキシコ （2）経常収支

- 4-6月期の経常収支は＋89億ドルと、前年同期の▲45億ドルから黒字に転化。
- 内訳をみると、貿易収支は＋108億ドル（前年同期：＋17億ドル）と黒字幅が大きく拡大したほか、所得収支は＋26億ドル（同：▲41億ドル）と黒字に転じた。

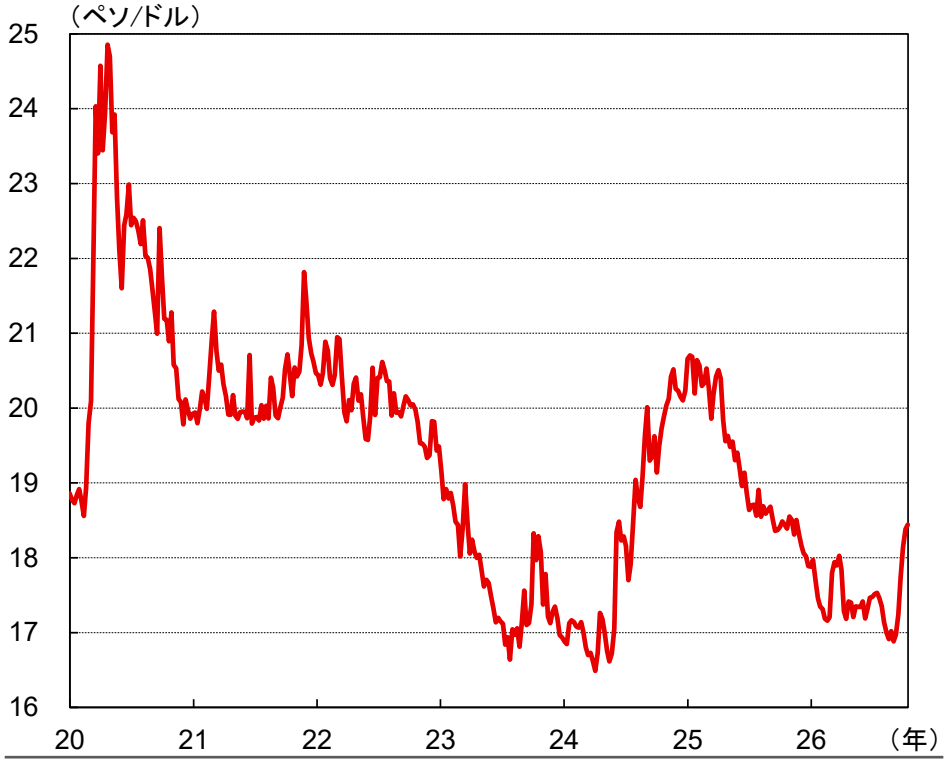


（資料）メキシコ中央銀行統計より国際通貨研究所作成

2. メキシコ （3）金融市場

- メキシコペソの対ドル相場は、9月に一時1ドル＝16ペソ台に上昇した後、ペソ安に転じ足元は18ペソ台半ばで推移。米国の利上げに伴うドル高に加え、先行きの米国との金利差縮小が意識され、ペソの下押し要因となっている。
- メキシコ銀行（中銀）は、5月以降、政策金利を6.5%で据え置いている。
- 株価（ボルサ指数）は、9月に一時63,000ポイント台まで下落した後は持ち直し、足元は69,000ポイント前後で推移している。企業業績への期待などが株価の回復を支えている。

メキシコペソ（対米ドル）の推移



（資料）Refinitiv Datastreamより国際通貨研究所作成

株価（ボルサ指数）の推移



（資料）Refinitiv Datastreamより国際通貨研究所作成

2. メキシコ （4）経済・金融概況

メキシコの主要経済指標

	年次			四半期次				月次			
	2023	2024	2025	25/7-9	10-12	26/1-3	4-6	26/6	7	8	9
実質GDP成長率（前年比、%）	(3.1)	(1.5)	(0.5)	(▲0.2)	(1.7)	(0.2)	(2.1)				
鉱工業生産（前期比、%）〇	(3.0)	(▲0.8)	(▲1.1)	(▲1.3)	(1.1)	(▲0.5)	(1.6)	(0.3)	(0.5)	(0.6)	―
自動車生産台数（千台）	3,779	3,989	3,953	1,015	934	959	1,027	354	303	345	302
自動車販売台数（千台）	1,361	1,490	1,508	366	433	381	373	127	131	129	129
原油産出量（千ﾊﾞｰﾚﾙ／日）*	1,875	1,759	1,635	1,648	1,648	1,652	1,658	1,666	1,674	1,637	―
（前年比、%）	(5.1)	(▲6.2)	(▲7.0)	(▲6.5)	(▲1.3)	(2.3)	(1.7)	(2.3)	(1.6)	(▲0.5)	―
原油輸出価格（米ﾄﾞﾙ／ﾊﾞｰﾚﾙ）	70.9	70.6	61.0	61.5	56.4	70.9	86.0	81.8	75.5	73.3	―
失業率（%）〇	(2.8)	(2.7)	(2.7)	(2.7)	(2.7)	(2.7)	(2.7)	(2.8)	(2.7)	(2.7)	―
消費者物価上昇率（前年比、%）	(5.5)	(4.7)	(3.8)	(3.6)	(3.7)	(4.1)	(3.9)	(3.4)	(3.1)	(3.3)	(3.5)
輸出（FOB）（億ﾄﾞﾙ）	5,930	6,177	6,648	1,686	1,831	1,759	2,141	725	814	780	―
（前年比、%）	(2.6)	(4.2)	(7.6)	(8.0)	(13.0)	(18.3)	(30.7)	(34.5)	(43.7)	(40.4)	―
輸入（CIF）（億ﾄﾞﾙ）	6,053	6,362	6,641	1,733	1,795	1,766	2,033	685	823	774	―
（前年比、%）	(▲0.1)	(5.1)	(4.4)	(5.2)	(11.5)	(18.4)	(25.4)	(28.0)	(45.0)	(34.2)	―
経常収支（億ﾄﾞﾙ）	▲103	▲169	▲88	9.5	76.5	▲ 182.3	89.3				
資本収支（億ﾄﾞﾙ）	▲0.0	0.0	▲1.0	▲ 0.3	▲ 0.1	0.0	▲ 0.0				
外貨準備高（億ﾄﾞﾙ）◎	2,128	2,290	2,519	2,473	2,519	2,546	2,551	2,551	2,555	2,585	2,559
ベースマネー（億ﾍﾟｿ）◎	29,605	32,934	35,450	32,891	35,450	35,030	35,007	35,007	35,455	35,089	35,154
政策金利◎	(11.25)	(10.00)	(7.00)	(7.50)	(7.00)	(6.75)	(6.50)	(6.50)	(6.50)	(6.50)	(6.50)
対米ドル為替相場◎	16.92	20.79	18.00	18.33	18.00	18.10	17.47	17.47	17.33	17.01	18.07
株価指数（ボルサ指数）◎	57,386	49,513	64,308	62,916	64,308	68,611	66,967	66,967	66,937	65,430	64,214

（注）*印：期中平均値、◎印：期末値、〇印：季節調整値

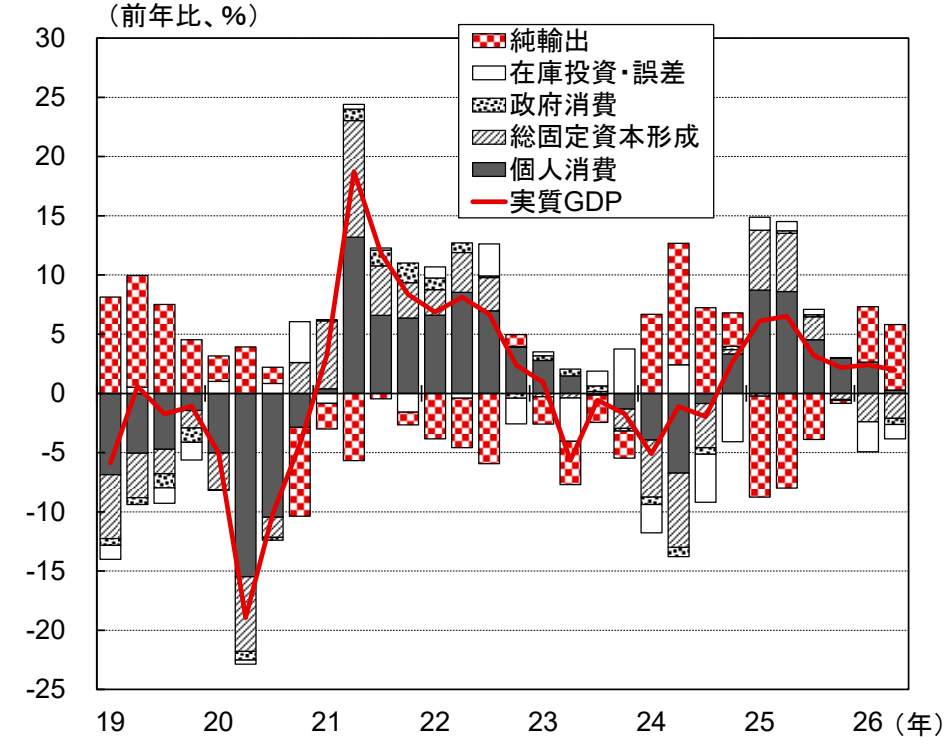
（資料）メキシコ中銀、国立統計地理情報院（INEGI）、PEMEXより国際通貨研究所作成

MUFG

3. アルゼンチン （1）景気概況

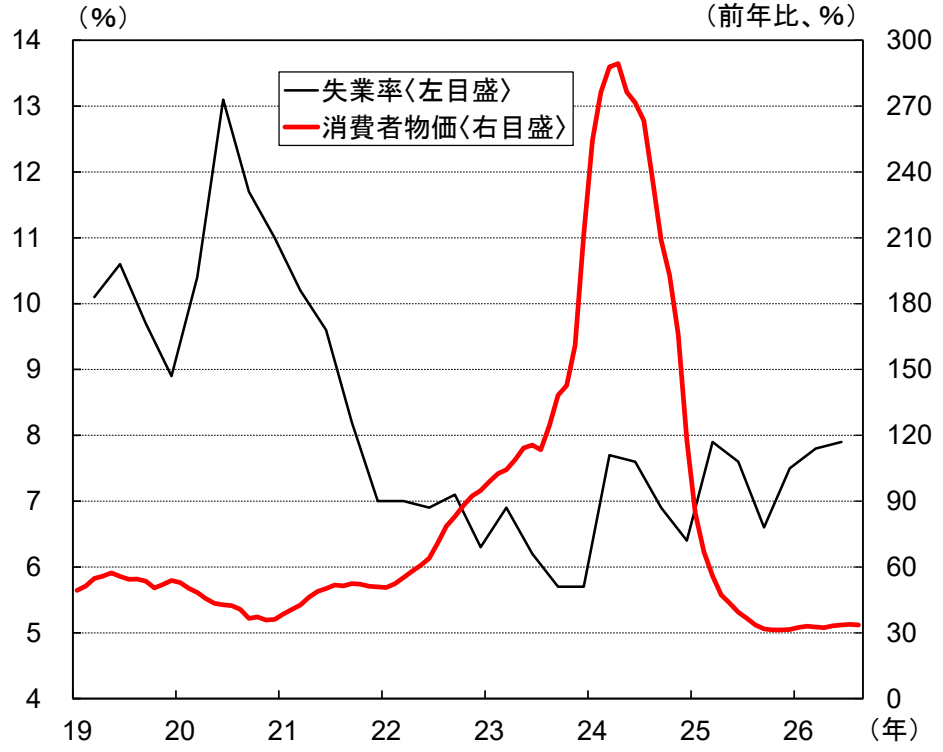
- 4-6月期の実質GDP成長率は前年比＋2.0%と、前期（同＋2.4%）から減速。需要項目別の寄与度では、純輸出（同＋5.5%ポイント）はプラス幅が拡大した一方、個人消費（同＋0.3%ポイント）はプラス幅が縮小し、政府消費（同▲0.5%ポイント）は前年比マイナスに転化。
- 4-6月期の失業率（未季節調整値）は7.9%と、前年同期の7.6%から上昇。
- 消費者物価上昇率は2024年4月をピークとして低下傾向が続いていたが、2025年10月以降ほぼ横ばいで推移しており、2026年9月は前年比＋33.4%となった。

実質GDP成長率の推移



（資料）アルゼンチン国家統計センサス局統計より国際通貨研究所作成

消費者物価上昇率と失業率の推移

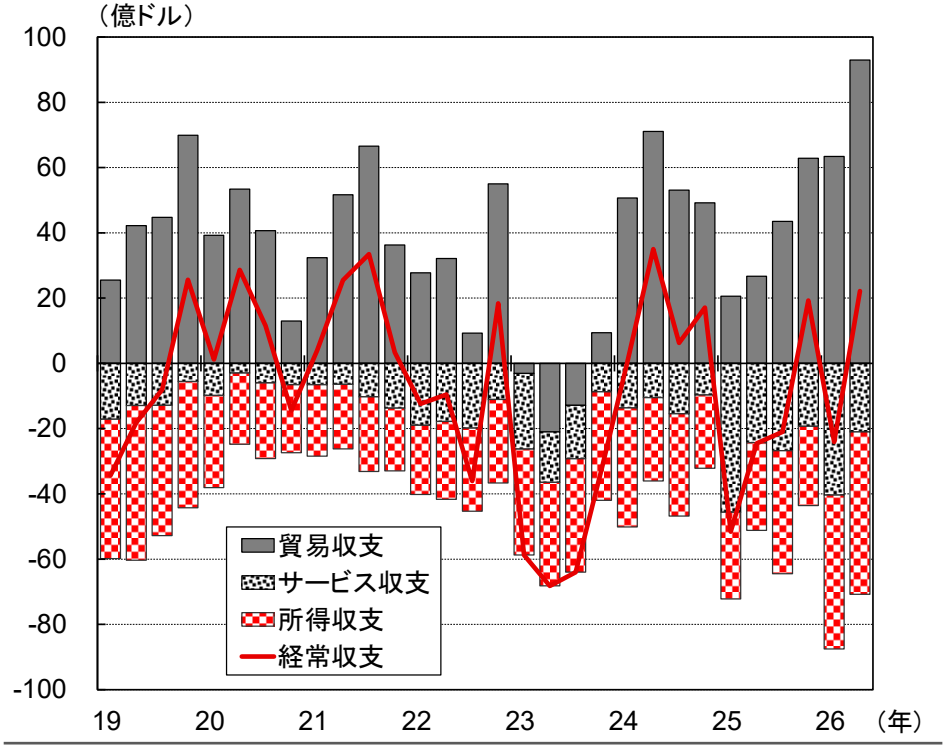


（注）失業率は未季節調整値。
（資料）アルゼンチン国家統計センサス局統計より国際通貨研究所作成

3. アルゼンチン （2）経常収支・外貨準備高

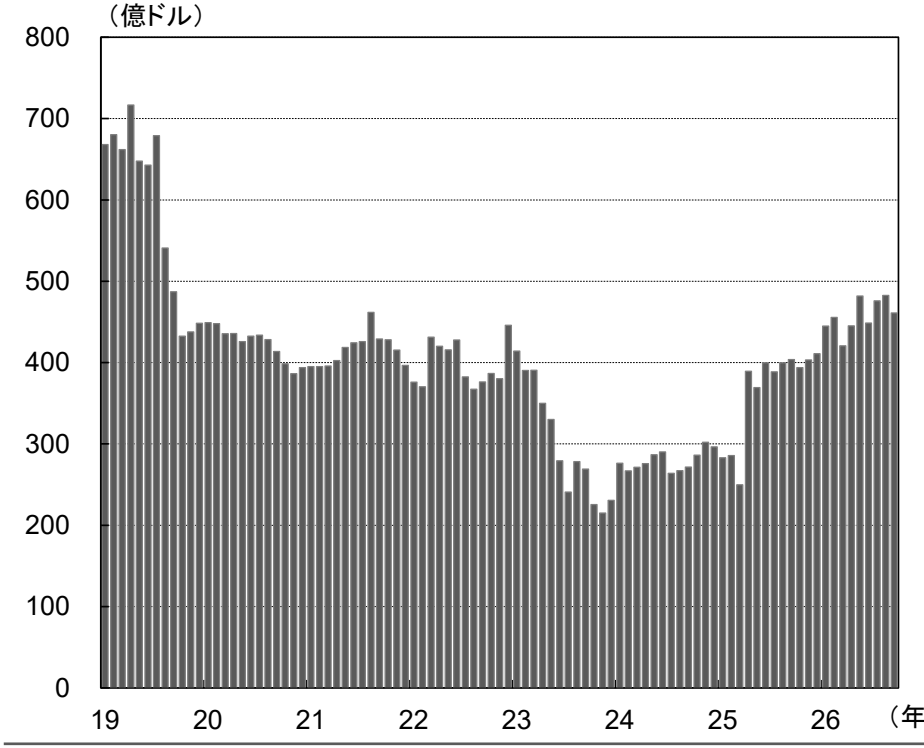
- 4-6月期の経常収支は＋22億ドルと、前年同期の▲25億ドルから黒字に転じた。
- 内訳をみると、所得収支は▲50億ドル（前年同期：▲27億ドル）と赤字幅が拡大したものの、貿易収支は＋93億ドル（同：＋43億ドル）と黒字幅が大きく拡大したほか、サービス収支も▲21億ドル（同▲24億ドル）と赤字幅がやや縮小。
- 9月末時点の外貨準備高は461億ドルと、2025年4月にIMFから200億ドルの融資が実行されて以降、緩やかに増加している。

経常収支の推移



（資料）アルゼンチン国家統計センサス局統計より国際通貨研究所作成

外貨準備高の推移

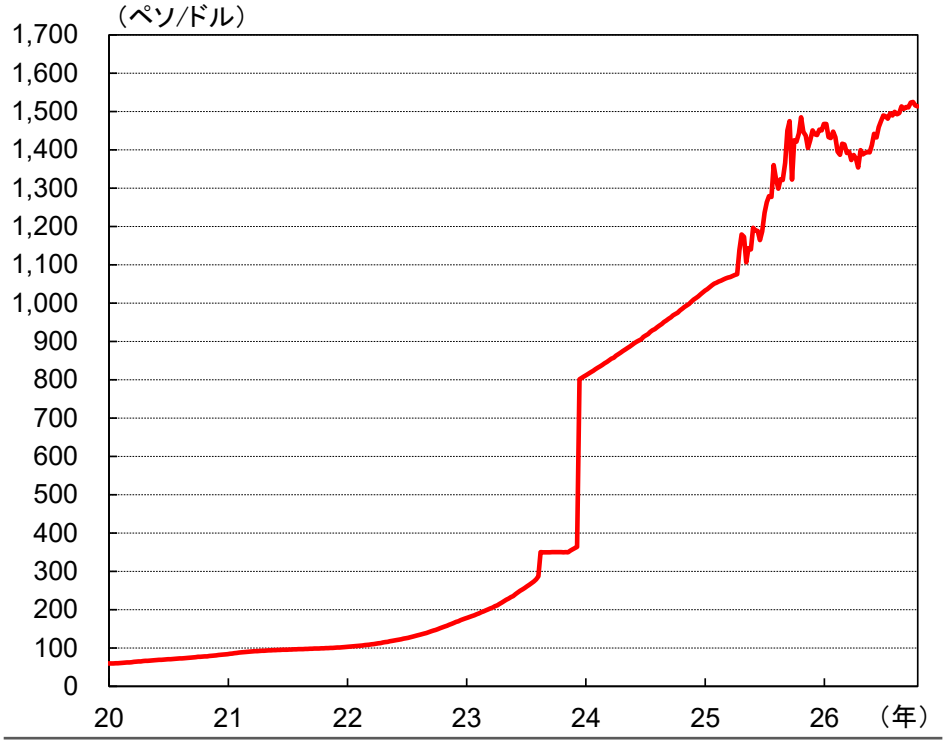


（資料）アルゼンチン中央銀行統計より国際通貨研究所作成

3. アルゼンチン （3）金融市場

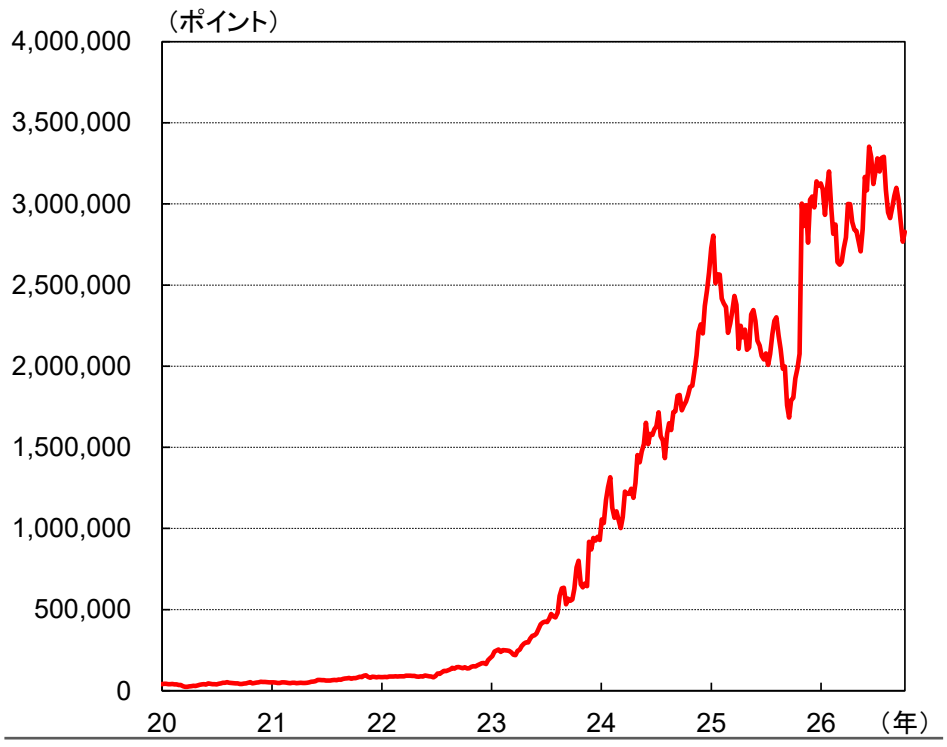
- アルゼンチン中央銀行は、完全な変動相場制への移行を目指して、2025年4月からアルゼンチンペソの為替バンド制を導入。アルゼンチンペソの対ドル相場（公定レート）は、足元1ドル＝1,500ペソ近辺で推移。
- 株価（メルバル指数）は、2026年以降、3,000,000ポイント前後で一進一退の動きが続き、足元は2,800,000ポイント前後で推移。国内景気の減速や2027年の大統領選挙を控えた政治情勢を巡る不透明感などが相場の重石となっている。

アルゼンチンペソ（対米ドル）の推移



（資料）Refinitiv Datastreamより国際通貨研究所作成

株価（メルバル指数）の推移



（資料）Refinitiv Datastreamより国際通貨研究所作成

3. アルゼンチン （4）経済・金融概況

アルゼンチンの主要経済指標

	年次			四半期次				月次			
	2023	2024	2025	25/7-9	10-12	26/1-3	4-6	26/6	7	8	9
実質GDP成長率（前年比、%）	(▲1.9)	(▲1.4)	(4.5)	(3.2)	(2.2)	(2.4)	(2.0)				
鉱工業活動指数（前年比、%）	(▲1.7)	(▲9.1)	(1.9)	(▲1.7)	(▲5.2)	(▲2.5)	(▲2.0)	(2.0)	(▲4.9)	(▲3.2)	―
建設活動指数（前年比、%）	(▲3.1)	(▲27.4)	(6.9)	(2.9)	(2.2)	(3.8)	(1.8)	(4.2)	(▲4.5)	(▲4.4)	―
自動車生産台数（千台）	611	507	491	129	112	92	112	37	31	39	40
自動車販売台数（千台）	407	411	587	156	131	112	116	44	34	39	43
失業率（%）	(6.1)	(7.2)	(7.4)	(6.6)	(7.5)	(7.8)	(7.9)				
消費者信頼感指数	41.1	39.5	44.5	42.0	44.6	44.3	40.8	42.7	40.7	40.2	41.2
消費者物価上昇率（前年比、%）	(133.5)	(219.9)	(41.9)	(33.9)	(31.4)	(32.7)	(33.0)	(33.5)	(33.8)	(33.5)	(33.4)
輸　出（FOB）（億ドル）	670	797	871	238	236	219	276	91	89	89	―
（前年比、%）	(▲24.5)	(19.0)	(9.3)	(13.8)	(14.4)	(17.2)	(30.9)	(25.2)	(14.1)	(12.4)	―
輸　入（CIF）（億ドル）	738	608	758	194	173	156	183	69	68	67	―
（前年比、%）	(▲9.7)	(▲17.7)	(24.7)	(24.6)	(10.2)	(▲6.4)	(▲0.7)	(7.5)	(▲1.4)	(3.6)	―
貿易収支（億ドル）	▲69	189	113	43	63	63	93	22	21	22	―
外貨準備高（億ドル）◎	231	296	411	404	411	421	449	449	476	483	461
ベースマネー（億ペソ）◎	96,080	297,286	429,570	422,956	429,570	412,778	457,120	457,120	461,936	474,515	469,094
対民間部門貸出量（億ペソ）◎	237,481	784,570	1,365,335	1,242,008	1,365,335	1,448,247	1,612,080	1,612,080	1,643,099	1,684,450	―
（前年比、%）	(161.4)	(230.4)	(74.0)	(110.2)	(74.0)	(54.3)	(45.9)	(45.9)	(39.9)	(40.0)	―
経常収支（億ドル）	▲ 224	59	▲ 78	▲ 21	19	▲ 24	22				
対米ドル為替相場 ◎	808.48	1,032.50	1,459.42	1,366.58	1,459.42	1,382.76	1,483.02	1,483.02	1,490.84	1,509.47	1,517.52
株価指数（メルバル指数）◎	929,704	2,533,635	3,051,617	1,773,440	3,051,617	2,997,780	3,168,607	3,168,607	3,291,323	3,033,848	2,819,323

（注）◎印：期末値
（資料）アルゼンチン中銀、国家統計センサス局、経済省、アルゼンチン大学、OECD、アルゼンチン経済省より国際通貨研究所作成

MUFG

当資料は情報提供のみを目的として作成されたものであり、何らかの行動を勧誘するものではありません。
ご利用に関しては、すべてお客様御自身でご判断下さいますよう、宜しくお願い申し上げます。当資料は信頼できると思われる情報に基づいて作成されていますが、当行はその正確性を保証するものではありません。
内容は予告なしに変更することがありますので、予めご了承下さい。また、当資料は著作物であり、著作権法により保護されております。全文または一部を転載する場合は出所を明記して下さい。

会社名：株式会社三菱UFJ銀行　経済調査室
〒100-8388　東京都千代田区丸の内1-4-5　三菱UFJ信託銀行本店ビル

照会先：　国際通貨研究所　　森川 央　　morikawa@iima.or.jp
　　小宮 佳菜　kana_komiya@iima.or.jp